

私がCOP26で見たもの





酒井 功雄(20)

#FridaysForFuture
#Climate Clock
#大学2年

気候変動による不平等な影響

気候難民

南北問題

貧困

ジェンダー格差

世代間格差



格差構造から恩恵を受ける人々による
そうでない人々への静かな暴力



アフガニスタンを襲った 2020年8月豪雨
(CNN, 2020)



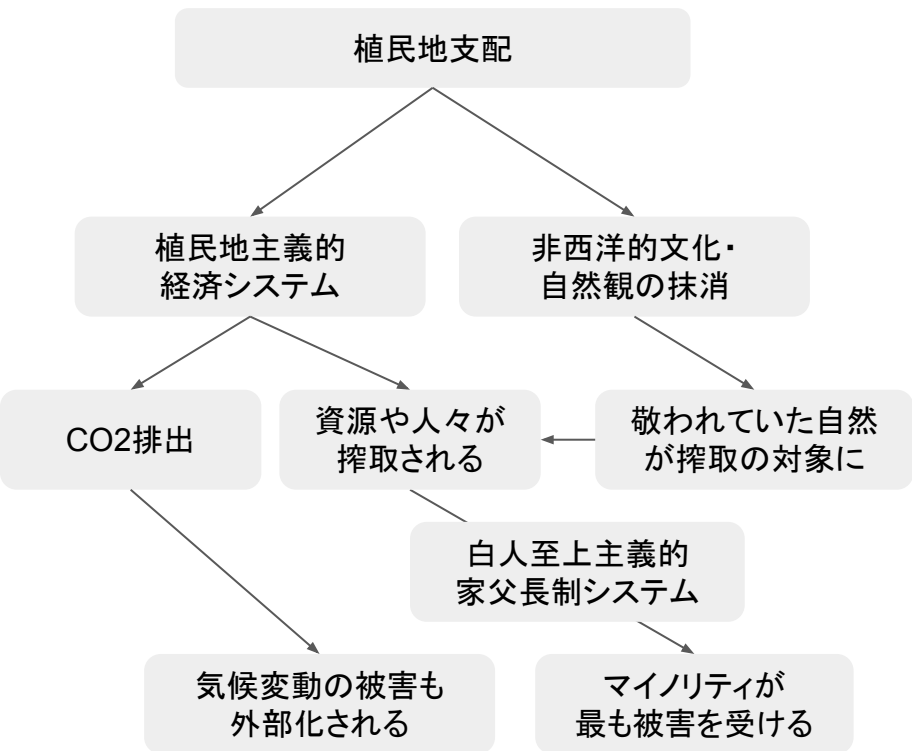
Fridays For Future バングラディッシュ (Fridays For
Future Bangladesh, 2021)



日本でも経済的に脆弱なホームレスの人々が台風などの被害にさらされる。(BBC, 2019)

気候変動を引き起こした植民地主義的システムを引き抜こう

MAPAアクティビストの叫び



「団結した人々は絶対に負けない」

「これが民主主義の姿だ」

「全く異なる世界を作ることは可能だ」

日本へのアクション： 気候正義に基づき脱石炭を



日本は、「アジア・エネルギー・トランジション・イニシアティブ」を通じ、化石火力を、アンモニア、水素などのゼロエミ火力に転換するため、1億ドル規模の先導的な事業を展開します。



ピカチュウアクション

岸田首相直撃アクション



私たちは、日本のような先進国が石炭を止め、再生可能エネルギーに投資することを望んでいます。しかし、これが唯一の解決策ではなく、私たちは彼らが引き起こした損失や損害に対する補償を求めています。私たちは真の変化を求めています。もう意味のないCOPはいらないし、うんざりしています。私たちは本当の行動を見たいのです。

私たちは、この危機によって人々が死ぬのを止めたいのです。私は、人々が苦しまず、未来に向かって走る姿を見たいと思っていますが、より強い台風、より強い災害のために、私の人々は毎日のように死んでいます。先進国は、石炭を止め、再生可能エネルギーに投資し、自らの役割を果たし、自らが行ったことに責任を持つべきなのです。

Chito from Fridays For Future Philippines

怒ってよいという心地よさ



私たちはどう「勝利のストーリー」を作れるか



ヨハン・ロックストローム博士
ポツダム研究所

「この2年間の変化で気候変動対策をすることは確実に世界をよくするという『勝利のストーリー』になった。経済も社会も、化石燃料から脱却することで今までの資源競争や紛争の火種を超えた世界を作り出せる。」

日本における勝利のストーリーをどうやってみんなで作っていけるか。